

平成 2 3 年度

3 年次編入学学生募集要項

茨城大学工学部

目 次

I . 募集人員	1
II . 編入学の時期	1
III . 入学者の選抜方法	1
IV . 推薦入試	1
V . 一般入試	3
VI . 注意事項	6
VII . 入学手続等	6
VIII . 既修得単位の認定及び編入学後の履修	6
IX . その他	6
X . 案内	8

添 付 書 類

この募集要項には、次の書類が添付されている。

- 1 . 志願者名票（推薦入試用・一般入試用）
- 2 . 受験票・写真票（推薦入試用・一般入試用）
- 3 . 推薦書
- 4 . 履修登録確認書（別紙様式1）
- 5 . 受験許可書（別紙様式2）
- 6 . 検定料の納入方法について
- 7 . 振込受付証明書・振込金受取書・振込依頼書
- 8 . 宛名票
- 9 . 出願書類提出用封筒（角形2号）
- 10 . 受験票等送付用封筒（長形3号）

I. 募集人員（45名）

コース	学 科	募 集 人 員	
		推薦入試	一般入試
Aコース	機 械 工 学 科	7 名	3 名
	生体分子機能工学科	3 名	2 名
	マテリアル工学科	2 名	——
	電 気 電 子 工 学 科	——	5 名
	メディア通信工学科	3 名	2 名
	情 報 工 学 科	2 名	6 名
	都市システム工学科	3 名	2 名
	知能システム工学科	——	5 名

⑨ Aコースは、昼間開講のコースです。

II. 編入学の時期

入学の時期は平成23年4月とし、3年次に編入学するものとする。

III. 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、「推薦入試」と「一般入試」の2つの方法で行います。
なお、電気電子工学科と知能システム工学科は推薦入試を行いません。
また、マテリアル工学科は一般入試を行いません。

IV. 推薦入試

1. 出願資格

- (1) 短期大学を平成22年3月に卒業した者及び平成23年3月31日までに卒業見込みの者で、人物及び学力がともに優れ、出身短期大学の学長又は部長が責任をもって推薦できる者
- (2) 高等専門学校を平成22年3月に卒業した者及び平成23年3月31日までに卒業見込みの者で、人物及び学力がともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者

2. 出願手続

出願書類等は一括し、出身学校長から直接提出してください。

- (1) 出願期間及び方法 平成22年5月6日(木)から5月12日(水)まで
 受付時間 9時から12時及び13時から16時まで
郵送の場合は、期間内必着とし、本学所定の封筒を使用して書留速達で送付してください。

(2) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
志 願 者 名 票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 (推薦入試用を使用してください。)
受 験 票 ・ 写 真 票	写真(縦4cm×横3cm)は、上半身正面無帽、出願前3か月以内に撮影したものを写真貼付欄に貼付してください。
調 査 書 (又は学業成績証明書)	出身学校長が作成し、厳封したもの。 (学業成績証明書の場合は、単位数の記載があるもの。)
推 薦 書	本学所定の用紙により出身学校長が作成し、厳封したもの。
卒 業 (見 込) 証 明 書	出身学校所定のもの。(調査書に記載してある場合は、省略可。)
振 込 受 付 証 明 書 (検 定 料)	30,000円 納入方法 ア 末尾に綴じてある振込依頼書に必要事項を記入し、最寄りの金融機関に持参して納入してください。銀行、信用金庫、農協など全国の金融機関窓口で納入できます。ただし、ゆうちょ銀行・郵便局では納入できません。 イ 振込受付証明書と振込金受取書は、金融機関の受領印がある事を確認の上受け取ってください。 ウ 振込受付証明書を「編入学志願者名票」の所定の欄に貼付してください。 エ 振込金受取書は本人の控えとして、受験票が手元に届くまで大切に保管しておいてください。 ※ 振込時の振込手数料は、振込人負担となります。 ※ 願書を受理した後は、いかなる理由があっても振込済の検定料は返還できません。 ※ ATMは使用しないでください。
登録原票記載事項証明書 (外国人留学生のみ)	外国人留学生は、市区町村長から交付された在留資格及び在留期間が明記されたものを提出してください。
受 験 票 等 送 付 用 封 筒	本学所定の封筒を使用し、速達郵便切手350円を貼付し、住所、氏名、郵便番号を記入してください。 (団地、アパート等名、棟、号も記入してください。)
宛 名 票	本学所定の用紙に、住所、氏名、郵便番号を記入してください。 (団地、アパート等名、棟、号も記入してください。)

- (3) 出願書類等の提出先 茨城大学工学部入試係
 〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4丁目12番1号
 電 話 0294-38-5223
 交 通 J R常磐線日立駅又は常陸多賀駅下車
 日立電鉄バス約20分

3. 選抜方法

入学者の選抜は、出身学校長からの推薦書、調査書（又は学業成績証明書）及び面接の結果を総合して判定します。

4. 選抜期日及び試験場

期 日	区 分	時 間	試 験 場
5月18日（火）	面 接 （口頭試問）	全 学 科 9時30分から	茨城大学 工 学 部

5. 合格者の発表

平成22年6月2日（水）13時に本学工学部構内に掲示するとともに、選考結果を本人及び推薦者あてに通知します。
なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じられません。

6. 入学確約書の提出

合格者は、入学確約書を平成22年6月16日（水）までに提出してください。
この期日までに提出がない場合には、本学工学部に入学の意志がないものとして取り扱います。

7. 推薦入試に不合格となった場合

「推薦入試」において、不合格となった者で「一般入試」の受験を希望する者は、改めて所定の方法で出願してください。
ただし、調査書（又は学業成績証明書）を、再度提出する必要はありません。

V. 一般入試

1. 出願資格

- (1) 学士の学位を有する者及び平成23年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び平成23年3月31日までに卒業見込みの者
- (3) 高等専門学校を卒業した者及び平成23年3月31日までに卒業見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程（修学年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たしたものに限る。）を修了した者及び平成23年3月31日までに修了見込みの者（大学入学資格を有する者に限る。）
- (5) 修業年限4年以上の大学において、2年以上在学（平成23年3月をもって満2年間在学となる者を含む）し、62単位以上を修得した者又は平成23年3月31日までに修得見込みの者

2. 出願手続

(1) 出願期間及び方法

平成22年6月7日(月)から6月11日(金)まで

受付時間 9時から12時及び13時から16時まで

【郵送の場合は、期間内必着とし、本学所定の封筒を使用して書留速達で送付してください。】

(2) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
志 願 者 名 票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 (一般入試用を使用してください。)
受 験 票 ・ 写 真 票	写真(縦4cm×横3cm)は、上半身正面無帽、出願前3か月以内に撮影したものを写真貼付欄に貼付してください。
調 査 書 (又は学業成績証明書) 履 修 登 録 確 認 書	出身学校長が作成し、厳封したもの。 (学業成績証明書の場合は、単位数の記載があるもの。) 「出願資格(5)」により出願する者は、修得済みの授業科目についての成績証明書(単位数が記入されたもの。)及び履修中の授業科目がある場合は、履修登録確認書(別紙様式1)を提出してください。
卒 業 (見 込) 証 明 書 在 学 証 明 書 専 門 士 称 号 の 取 得 証 明 書	出身学校所定のもの。(調査書に記載してある場合は、省略可。) ただし、「出願資格(4)又は(5)」に該当する者は、次の証明書を提出してください。 1. 「出願資格(4)」により出願する者は、専門士取得(見込)証明書又は修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書。 2. 「出願資格(5)」により出願する者は、在学証明書。
振 込 受 付 証 明 書 (検 定 料)	30,000円 納入方法 ア 末尾に綴じてある振込依頼書に必要事項を記入し、最寄りの金融機関に持参して納入してください。銀行、信用金庫、農協など全国の金融機関窓口で納入できます。ただし、ゆうちょ銀行・郵便局では納入できません。 イ 振込受付証明書と振込金受取書は、金融機関の受領印がある事を確認の上受け取ってください。 ウ 振込受付証明書を「編入学志願者名票」の所定の欄に貼付してください。 エ 振込金受取書は本人の控えとして、受験票が手元に届くまで大切に保管しておいてください。 ※ 振込時の振込手数料は、振込人負担となります。 ※ 願書を受理した後は、いかなる理由があっても振込済の検定料は返還できません。 ※ ATMは使用しないでください。
受 験 許 可 書	大学に在籍している者(「出願資格(5)」に該当する者)は、当該大学の学長(学部長)が作成した受験許可書(別紙様式2)を提出してください。
登録原票記載事項証明書 (外国人留学生のみ)	外国人留学生は、市区町村長から交付された在留資格及び在留期間が明記されたものを提出してください。
受 験 票 等 送 付 用 封 筒	本学所定の封筒を使用し、速達郵便切手350円を貼付し、住所、氏名、郵便番号を記入してください。 (団地、アパート等名、棟、号も記入してください。)
宛 名 票	本学所定の用紙に、住所、氏名、郵便番号を記入してください。 (団地、アパート等名、棟、号も記入してください。)

(3) 出願書類等の提出先

茨城大学工学部入試係

〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4丁目12番1号

電 話 0294-38-5223

交 通 J R常磐線日立駅又は常陸多賀駅下車

日立電鉄バス約20分

3. 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験、出身学校長からの調査書（又は学業成績証明書）及び面接の結果を総合して判定します。

学力試験教科・科目

学 科	試 験 科 目		面接
機 械 工 学 科	英 語	工業力学	面接
生体分子機能工学科		※理科2科目 (化学と物理又は生物)	
電気電子工学科		基礎科目 (電気磁気学 ・電気回路)	
メディア通信工学科		基礎科目 (電気磁気学 ・電気回路)	
情報工学科		情報処理(ハードウェア ・ソフトウェアの基礎)	
都市システム工学科		構造力学・水理学	
知能システム工学科		物理 (力学・電磁気学)	

※ 試験当日「化学」の他に「物理又は生物」のどちらか1科目を選択し2科目解答することになります。

4. 選抜期日及び試験場

期日	試験場	区 分	時 間	備 考
6 月 19 日 (土)	茨城大学工学部 日立市中成沢町 4-12-1	英 語	8:50 ~ 9:50	
		数 学	10:20 ~ 11:50	
		専門科目	13:00 ~ 14:30	
		面 接	15:00 ~	※生体分子機能工学科のみ

5. 合格者の発表
平成22年7月9日(金)13時に本学工学部構内に掲示するとともに、合格者に合格通知書等を郵送します。
なお、電話等による可否の問い合わせには、一切応じられません。
6. 入学確約書の提出
合格者は、入学確約書を平成22年7月23日(金)までに提出してください。
この期日までに提出がない場合には、本学工学部に入学の意志がないものとして取り扱います。

VI. 注意事項

1. 出願書類を郵送する場合は、本学所定の封筒を使用して、「書留・速達」で郵送してください。
2. 一度受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
ただし、検定料については、検定料を払い込んだが出願しなかった場合又は誤って二重に振り込んだ場合は検定料の返還請求ができますので、申し出てください。
3. 平成23年3月までに所定の要件を満たす見込みで受験し合格した者が、所定の要件を満たすことができなかつた場合は、入学を許可しません。
4. 試験に関する注意事項については、試験前日の15時に掲示します。
5. 受験の際の宿泊を希望する場合は、本学では取り扱いませんので、下記に直接申し込んでください。

茨城大学受験宿泊相談センター日立支部
〒316-8511 日立市中成沢町4-12-1
電話 0294-37-4610

VII. 入学手続等

1. 手続期間
詳細については、平成23年2月上旬に「入学手続書類」を送付するので、これにしたがって必要な書類等を準備し、入学手続期間内に入学手続きを行ってください。
2. 納入金

(1) 入学料	282,000円	
(2) 授業料(前期分)	267,900円	(年額 535,800円)

(注1) 入学手続きまでに入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び授業料が適用されることとなります。
(注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されることとなります。

VIII. 既修得単位の認定及び編入学後の履修

1. 既修得単位の認定は、本学の定めるところにより、当該出身学校のカリキュラム及び成績を考慮して単位を認定します。
2. 編入学した者は2年以上在学し、本学所定の授業科目を履修することになります。
ただし、教養科目等履修のため3年以上在学しなければならない場合もあります。
なお、4年を超えて在学することはできません(休学期間を除く)。
3. 生体分子機能工学科及び電気電子工学科に編入学する者は、希望するコースに配属されます。

IX. その他

1. 入学料免除・徴収猶予制度
本人の申請により下記に該当し、免除又は徴収猶予が必要と認められる場合には、選考の上、入学料の全額又は半額が免除あるいは徴収猶予されることがあります。
 <入学料免除の対象者>
 - 1 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者(以下、「学資負担者」という。)が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納入が著しく困難であると認められる場合。
 - 2 上記1に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合。

＜入学金徴収猶予の対象者＞

- 1 経済的理由により、入学金の納入期限（入学手続期間）までに納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合。
- 2 入学前1年以内において、入学する者の学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納入期限（入学手続期間）までに納入が困難であると認められる場合。
- 3 その他やむを得ない事情があると認められる場合。

2. 授業料免除制度

本人の申請により下記に該当し、免除が必要と認められる場合には、選考の上、当該期分の授業料の全額又は半額が免除されることがあります。

- 1 経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合。
- 2 入学前1年以内又は納期中において、学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納入が著しく困難であると認められる場合。
- 3 学長が相当と認める事由がある場合。

3. 育英奨学制度

日本学生支援機構による奨学制度は、無利子貸与の第一種奨学金と有利子貸与の第二種奨学金の二種類があります。いずれも人物・学業ともに優れ、かつ健康であって、経済的理由により修学に困難があると認められた者に貸与されます。貸与月額（平成21年度採用者）は、第一種奨学金が、自宅通学者30,000円又は45,000円、自宅外通学者30,000円又は51,000円であり、第二種奨学金が、30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円の中から選択することができます。

4. 福利センター

学生・教職員のための福利・厚生施設で、書籍、文具日用品、家電製品、オーディオ、CDなどを始め、コピーサービス、写真現像・焼付け、プレイガイド、トラベルガイド等に至るまで、日常生活における多様なサービスが提供されています。

5. アルバイト

学生生活を継続する上で、アルバイトをせざるを得ない学生のために、学生にふさわしい職種に限り、アルバイトを紹介しています。主な職種としては、家庭教師、塾講師、軽作業、一般事務、各種調査等があります。

6. 保険制度

学生教育研究災害傷害保険は、学生が教育研究活動中に、不慮の事故や災害に遭った場合の保険制度として、国公立を含めた全大学生を対象とした全国的な保険制度です。また、学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償が補償される制度です。

(1) 学生教育研究災害傷害保険料	2年分	2,100円
(2) 学研災付帯賠償責任保険料	2年分	680円

7. アパート等の紹介

希望者には、工学部学務第二係でアパート情報等を紹介しています。

また、工学部には男子学生寮（吼洋寮）があります。

男子学生寮（吼洋寮）に入寮を希望する場合は、平成23年2月上旬に発送する「入学手続書類」に同封の入寮願書を所定の期日までに作成し、工学部学務第二係へ提出してください。

茨城大学工学部学務第二係

〒316-8511 日立市中成沢町4-12-1

電話 0294-38-5011

8. 個人情報の取扱いについて

「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に則り、本学入学者選抜に用いた個人情報については、入学者選抜に係る調査・研究等及び就学に係る用途にのみ使用し、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

X. 案内

茨 城 大 学

(<http://www.ibaraki.ac.jp/>)

【目指す大学像】

「高度の専門的な職業人を養成する、地域性と総合性を持つ大学」

【理 念】

茨城大学は首都圏北部における学術文化の中核的な拠点として、教育と研究における専門性と総合性の調和を図りつつ、世界的視野と先見的視点に立脚し、人材育成と学術研究を通じて社会の持続的な発展に貢献する。

【アドミッションポリシー】

茨城大学は次のような人（学生）を求めています。

1. 学修の基礎となる学力とコミュニケーション力を備え、自らを律し、向上する意欲を持ち、知的好奇心が旺盛な人
2. 自然と人間と社会に関わる諸課題に主体的に取り組み、問題を解決する力を高め、さらなる新しい課題に積極的に挑戦しようとする人
3. 幅広い教養と高い専門性を備えた職業人として、現代の世界と社会の持続可能な発展に貢献しようとする人

工 学 部

(<http://www.eng.ibaraki.ac.jp/>)

『人と自然環境に調和した高度科学技術の実践』

茨城大学工学部は、世界的視野で未来に向かってはばたく科学技術を創造する拠点として絶えず前進しながら、人と自然環境に調和した高度科学技術を実践する人材を育成しています。

『構成』

平成17年度に学科改組を行い機械工学科、生体分子機能工学科、マテリアル工学科、電気電子工学科、メディア通信工学科、情報工学科、都市システム工学科、知能システム工学科の8学科となりました。

さらに学業研究を極めたい方のために、その後2年間の大学院博士前期課程、3年間の大学院博士後期課程があります。

『世界と地域を結ぶ科学技術の拠点』

約12万㎡のキャンパスには、研究棟、講義棟、図書館、IT基盤センター、産学官連携イノベーション創成機構などの教育研究設備が整備されています。

近隣の大学等との単位互換制度、周囲の企業・公的研究機関の最先端の研究所で研究指導を受ける制度、これら研究所から客員教員を招く制度があり、産・学・官連携の拠点となっています。

海外の一流研究者を招いての講演会、国際シンポジウムが頻繁に開催され、世界レベルでの研究を行う上での刺激になります。さらに海外提携大学への留学も可能です。

『J A B E E 対応に向けた教育』

J A B E E (日本技術者教育認定機構)の認定を受けるべく教育体制を整備しています。認定された後は、卒業が国際的な標準を満たしていると認められます。

【アドミッションポリシー】

工学部では次のような人（学生）を求めています。

1. 専門的な科学技術の修得を目指す高い目的意識を持ち、修得に必要な基礎学力・コミュニケーション能力を持っている人
2. 国際的活動を含めた社会とのかかわりへの関心を持ち続け、科学技術に関する高度な知識の修得と論理的思考力の向上を目指す人
3. 持続可能な社会の形成や発展に貢献するための高い工学的専門性を備えた職業人を目指す人

※各学科の教育内容及びアドミッションポリシーは、次のアドレスを参照してください。

【各学科のアドミッションポリシー】 (http://www.eng.ibaraki.ac.jp/admission/policy_hen.html)

【各 学 科 の 紹 介】 (<http://www.eng.ibaraki.ac.jp/course/>)